

団体名：公益財団法人三重県国際交流財団

協働事業<つたわるネット>報告（1月分）

◎第2回多様な主体との協働によるつたわるネット推進会議を開催しました！
今回は、前回会議で話し合った「災害時により多くの外国人住民に情報が流れるようにするにはどうしたらよいか」という議論をより具体的に行うため、災害時に想定される問い合わせ例をもとに、各主体と意見交換を行いました。

<事例1>発災2～3日後

- ・ 給水車が1日2回 ○○中学校に来る

<事例2>発災1週間後頃

- ・ 県内の遺体安置所10ヶ所に外国人らしき遺体がある。どうしたらいいか。

<事例3>発災10日後

- ・ FMみえが毎日正午から1時間ポルトガル語放送をする。みんなに伝えて欲しい。
- ・ 病院に行きたいけどお金がない。どうしたらいいか。

<事例4>発災1ヶ月後頃

- ・ 仮設住宅を1年間貸し出すので、外国人にも伝えてほしい。
- ・ 生活費がない。

様々な意見が出ましたが、各主体が持つネットワークを十分に活用し、いざという時に的確な情報提供ができるよう普段から備えることが大切であることを確認しました。また、実際に災害が発生した際のシミュレーションやコーディネート力を向上させる必要がある実感しました。



第2回会議の様子

※今後の予定

- ・ 第2回多様な主体との協働によるつたわるネット推進会議報告書の作成
- ・ 協定書に関する県との協議